

「積極的な考え方への転換を」

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。平成20年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日ごろ、皆様には議会活動に対しご理解とご協力をいただいておりますことに、議員一同心より感謝申し上げます。さて、今地方は、都市との

生活格差が広がり、加えて地方交付税の削減等により、地方の財政運営、住民サービスに重大な支障をきたしています。

奥尻町も例外ではなく、厳しい財政運営の状況にあり、その健全化を図ることが急務となっております。町の予算編成にあたっては

つも感じていることは、町理事者、財政当局、職員の間で歳入議論がされているのだろうか？ということです。議会も、新年度予算の審議の際、歳入議論はあまりされず歳出の議論と削減が大半である。

このような時代だからこそ住民税の確保のためには、地方交付税を確保するためには、その他の収入を確保するためにはと、歳入の財源を待つのではなく、積極的に確保するためにはどうすべきかを、町理事者、議会がしっかりと意識として持たなければならぬと思います。

「前例がありません」「他の町村ではやっておりません」「予算がありません」と、ありません尽くしで説明、説得するのではなく、良いものは予算がなくても工夫をしながら実現することが、公務員の業務のはずだと思えます。

半ば、慢性的な三つの「ません」から脱却し、「できない理由を探すのではなく、できる理由をみつける」!!、そして住民福祉の向上に挑戦し続けてほしいと思います。

町民の皆様、町理事者、職員、そして議会がひとつになって努力し、この厳しい時代を乗り越えていければと思います。新しい年が、皆様にとりましてより良い一年になりますように、お祈り申し上げます。のご挨拶いたします。

もちろん、歳出の削減は重要ですが、「引き算」という消極的な発想から「足し算」という積極的な考え方への転換をすることで、歳入基盤の充実を目指すべきではないでしょうか!?

職員のみなさんにも一言、

平成20年 元旦



奥尻町議会議長

新村卓実

奥尻町議会

副議長・産業建設常任委員

伊藤 実

総務文教常任委員長・議会運営委員

紀伊国 俊美

産業建設常任委員長・議会運営委員・
檜山行政組合議会議員

麓 敏也

議会運営委員長・産業建設常任副委員長

千田 敏幸

広報編集特別委員長・議会運営副委員長・
総務文教常任委員

制野 征男

総務文教常任副委員長・広報編集特別
副委員長・議会選出監査委員

齋藤 伸彦

総務文教常任委員

上野 弘安

産業建設常任委員・檜山行政組合議会議員

青坂 賢二

産業建設常任委員・広報編集特別委員

寅尾 裕志

事務局 長

酒谷 周司

他職員一同



「ふるさとで学び、町を育てる児童・生徒の育成」が目標

新年あけましておめでとう
でございます。
謹んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。

まして、心より感謝申し上げます。
さて一昨年、約60年ぶりに
教育基本法が改正され、昨年
学校教育法等の一部を改正す
る法律などが施行され、教育
行政を取り巻く環境も急速に
変わりつつあります。

日ごろより、本町の教育振
興に多大なるご支援とご協力
を賜っておりますことに対し
下が指摘され、「ゆとり」の

中で「生きる力」を培おうと
して取り組まれてきた「ゆと
り教育」を見直そうとする方
向に進みつつあり、質の高い
教育、家庭や地域の教育力の
向上、さらには、教育委員会
のあり方などについての教育
改革議論が展開されておしま
す。

このような中、奥尻町にお
いては、教育目標として「ふ
るさとに学び、町を育てる児
童・生徒の育成」を掲げてお
り、この目標に向かって、子
どもたちが郷土に誇りを持ち、
夢と希望にあふれ、心豊かに
そしてたくましく成長できる
よう、また、児童生徒に基礎
基本をしっかり身につけさせ、
自ら学び、自ら考える力など
の確かな学力を育むことがで
きるよう、児童生徒一人ひと
りに応じた、きめこまかな指
導の充実に努めてまいります。

昨年、実施された「全国学
力・学習状況調査」では、町

内の子どもたちの得意とする
分野や苦手な分野、生活習慣
の特徴的な傾向も出ており、
今後の学習指導や生活指導に
大いに役立つものと期待して
いるところです。

一方、子どもたちを巡って
は信じがたい事件・事故がい
まだ後を絶たず、テレビ・新
聞等で毎日のように報道され
ております。

それを見るたびに、奥尻町
の子どもたちに限ってこのよ
うな事は無い、また、起こり
得ないと確信しておりますが、
反面、いつでも、どこでも起
こり得る問題として認識し、
家庭や地域の人すべてが当事
者意識を持つ必要があります。

いずれにいたしましても、
子どもたちの健全育成のため
には、今まで以上に学校、家
庭、そして地域の人々の連携
が不可欠であり、さらなるご
支援ご協力を願うものであり
ます。

また、生涯学習の充実は、
町民の生きがいを支える重要
な課題であり、厳しい町財政
状況ではありますが、全ての
町民が「どこでも」「気軽に
学びあえる」生涯学習の環境
づくりさらに努力を重ねて
まいります。

皆様には、今後とも教育行
政に深いご理解とご協力を賜
りますようお願い申し上げます
とともに、皆様のご多幸を
心からお祈り申し上げます、新年
のご挨拶といたします。

平成20年 元 旦



奥尻町教育委員会委員長 館 達雄

奥尻町教育委員会

教育委員長	瀬戸 弘
“ ”	佐藤 芳子
“ ”	上野 史朗
教育局長	石島 孝司
事務局長	泉澤 克尚
他職員	一 同